

グリーンカーテンでエコ活動 ～みささぎ版SDGsの取り組み～

CORPORATION 社会福祉法人 みささぎ会
FACILITY グループホームつどうホール
POSITION グループリーダー
NAME 宮田 恒志さん



取り組みのきっかけ



SDGsの「気候変動に具体的な対策を」を実践

グループホームでは普段から積極的に園芸活動に取り組んでいる。その中で毎年、藤井寺市主催のグリーンカーテンコンテストにも応募。SDGsの「気候変動に具体的な対策を」を実践し、温暖化防止の一環として、ご利用者・地域の方・職員が協力して取り組む。SDGsが学校教育に導入されつつある中で、最近の学生も関心を持っており、法人としての良いアピールポイントにもなる。

取り組み内容

ご利用者・地域の方と協力してグリーンカーテンを育てた

つる性植物であるゴーヤを中心に、今回はアサガオも同時にご利用者と一緒に育てた。グループホームの窓一面を覆う自然の緑のカーテンとなるように工夫しながら育て、植えから約2ヶ月、立派なゴーヤを20本ほど収穫できた。また、地域で園芸に詳しい方がおり、以前から緑を上手に育てるコツを教えてもらっていた。それを今回応用してグリーンカーテンを育て上げた。



取り組みの結果

令和4年度のグリーンカーテンコンテストで見事「最優秀賞」を受賞

毎日の水やりが良い日課になった。ご利用者と一緒に朝・夕にベランダへ出ること、良い適度な運動と外気浴の機会となり、1日の生活リズムが安定する要因となった。また、ゴーヤと一緒に育て、収穫し、食べる楽しみができた。ご利用者と一連の作業を一緒に行うことで、日常生活の中で良い役割も担ってもらえた。他にもエアコンの設定温度を上げることもでき、省エネを実現できた。



研究大会発表内容



詳しくは
コチラ



Commentator's message

施設あるいは職員としてのミッションや、ポリシーをすごく大切にしている、つまり役割をしっかりとご理解したうえでの活動だと感じました。また、この取り組みを通して、施設や地域の人の心を育む、あるいは人の心を「ほどく」ことにもつながっています。楽しみとやりがいを持ちながら、個人として、また組織としてもやっていく、あるいは地域の方と確認し合いながら実施していくというところは、みんなが同じ方向に向かう、ある意味SDGsと同じ考え方にもなると思います。

四天王寺大学 教育学部教育学科 / 吉田 祐一郎 准教授